

しまつなレター 11月号

～しまだつながるプロジェクト～

発行：島田市社会福祉協議会
住所：島田市大津通2番の1
電話：0547-35-6244

災害ボランティアセンターから見た「地域のチカラ」



島田市社会福祉協議会では、9月23日の台風15号の大雨により、9月26日に社協独自で「災害ボランティアセンター」を立ち上げ、自治会の皆様をはじめ、関係団体、ボランティアと連携し、被災された皆様からの困りごとの相談に応じ、生活復興に向けて災害ボランティアの派遣を実施してきました。



1 活動内容・件数等

- (1) 期間：9月26日～10月7日
- (2) 内容：泥や土砂の掻き出し、家財の運び出し、家具の移動、畳の運び出し、清掃など
- (3) 件数：55件
- (4) 協力者：一般ボランティア、島田青年会議所、島田ライオンズクラブ、島田市商工会青年部等（延べ協力者 359人）



この活動は赤い羽根共同募金に支えられています。ありがとうございます！

2 地域の「助け合い」「地域のチカラ」

その1

発災直後には道路に出た土の片付けなどを自治会や町内会、建設会社などの協力により実施された地域がある。

その2

床上、床下浸水の被害を受けた方は、親族や近所の人たちが声を掛け合い、片付けをされていた。

その3

地域で普段から関わりのある人が社協職員をつないでくれると「困っている声」がでやすかった。

その4

地域の状況把握を地区社協や居場所、サロンの代表者に状況を確認。自治会や町内会には届いていない個々の様子を教えていただくことができた！



10月11日からは、【災害ボランティアセンター】から【福祉のまちづくりセンター】へ移行し、皆様の気持ちに寄り添いながら、ボランティア派遣や生活全般に関わる困りごとの相談に応じています。



相談



ネットワーク

活動

福祉まちづくりセンター

= 福祉総合相談
= 島田市社協

【相談内容】

- ① ボランティア派遣に関する相談
- ② 資機材の貸出
- ③ 情報提供
- ④ 他機関へのつなぎ
- ⑤ その他生活全般に関する相談

例えば…大雨の被害によりこんな困りごとありませんか???

- ・ 生活が大変になってしまった
- ・ 地域の中に心配な人がいる
- ・ 閉じこもりがちになってしまった
- ・ 地域のためにこんなことをしたい

困ったら社協へ相談してね！





地域活動者情報

キラッと

NO.20

浅田理恵さん



浅田さんは、仕事をされながら、月1回土曜日に開催している#はつくらこども食堂などのボランティアとして大活躍中！食事づくりや会場準備のほか、全体を見渡し、常に気を配ってくださっています中高生ボランティアはもちろん、大人のスタッフにとっても”みんなのお母さん”のような存在★活動をするなかで大切にしていることを伺うと「いつも笑顔でいること」と、ステキな笑顔で教えてくださいました。そんな浅田さんの周りには、いつも笑顔がいっぱい(^^)

NO.19

松村達也さん



松村さんはクラウン（道化師）として、市内や県外のこども食堂や福祉イベント等で活動されています。市内以外にも県内の病院を訪問されたり、東北の被災地に行って活動されたりしてきたそうです。松村さんの活動スタイルはステージで一方向的に魅せるのではなく、来場者と直に触れ合いコミュニケーションを深めるスタイルで、人と人とのつながりを大切にしています。松村さんの周りには、来場者だけでなくそこにいるスタッフやボランティア、すべての人が楽しく笑顔になります♡

高齢者あんしんセンター金谷との合同企画

～リアル野球盤体験～



in.金谷北地域交流センター



10/19(火)リアル野球盤体験会を実施しました。
リアル野球盤は島田市で生まれた老若男女問わず皆が楽しめるスポーツで今回は女性9名、男性5名の計14名の方にご参加いただきました！
会場ではブラスバンドの演奏も流して、ホームランがでたらハイタッチ！ユニフォームも着て雰囲気抜群！参加者の方からは「月に一回はやってほしい！」「また必ず企画してね！」と皆さんにとっても楽しんでいただけました♪
1チーム5人程度からできるお手軽なスポーツです！みなさんもぜひ挑戦してみてくださいか？



お問い合わせは島田市社会福祉協議会まで！

